

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和4年5月23日

作成者：橋野 浩美

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
(特活)あしや NPO センター	
事業名	日時 (期間)、場所
共生のまちを目指して！障がい者施設デジタルスタンプラリー&あしやの火	6月～8月 市内障がい者施設及び精道小学校体育館
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
・6月12日：動画設営及び編集講座開催 ・6月～7月：市内障がい者15施設、講座受講者(高校生～一般市民・障がい福祉課・芦屋市社会福祉協議会)と撮影・YouTube配信	(4551)人
	参加者数
・7月26日～8月6日：授産品との交換及び芦屋への想いを書く ・8月12日：書道パフォーマンス&パラリンピックのための火	(92)人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
障がい者施設、当事者を広く市民に知っていただくことを目的に、パラリンピック開催にちなんだ事業として開催した。但しコロナ禍の中であることを考慮し、YouTubeを利用したコンテンツにしたことで、撮影側も若い世代とのチームが実現したこと、動画+クイズ+景品交換+夏休みを組み合わせることで、動画視聴者4,551人、景品交換300人と多くの市民の方に障がい施設を知っていただくことができた。また、「あしやの火」イベントでは、小学生から一般まで35人のボランティアが参加した。少人数でもネットを利用した非接触で且つ記憶・映像として残る事業ができることを知ることができた。	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
これまでは文字で残すことが中心となっていたが、映像を作ることで、チームワークや記録があせないことがわかった。今後はイベント等で映像チーム、新聞チームなど協働で実施することに重きをおき、より多くの市民の方々の協働事業を進める。	

